

## 第5学年2組 総合的な学習の時間 学習指導案

指導者 花元 真太郎

### 1 単元名 ちょいボラ隊参上

### 2 単元について

本単元では学校の課題や諸問題について調査し、自分の課題として捉え、学校の身近な学校生活の中で自分にもできるボランティアを計画・実践し、次の活動に向けて評価・改善する活動を行っていく。それらのことを通して、自分の考えを振り返ったり、今後の自分について考えようとしたり、課題を解決するために調べたことよさを理解したり、整理・分析してまとめたことを表現したりすることをねらいとしている。活動の中では、国語科や体育科（保健領域）やこれまでの総合的な学習の時間で培った知識や技能を活用しながら学習を行うことを大切にしてい

### 3 単元の目標

- 幸袋小学校の課題を捉え、中学生からのアドバイス、インターネットの情報などを生かして、問題の解決に向けた活動を計画、実行することができる。 【知識及び技能】
- 収集した情報や実践したことについて比較したり関連付けたりするなど、「考えるための技法」を活用して整理・分析、表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】
- 幸袋小学校のために「自分にできることは何か」という視点をもって活動したり、自分の考えや思いを振り返り、今後の自分について考えたりしようとする。 【学びに向かう力、人間性等】

### 4 単元指導計画（全 29 時間）

過程	時数	○主な学習活動（内容）	◇主な評価規準
導入	1	1 ボランティアについて知り、幸袋小学校のために、自分たちにもできることはないかを考える。	◇ボランティアについて知ることができる。 <span style="float: right;">【知・技】</span>
	3	2 校内を見回ったり、教員や他学年児童等にインタビューをしたりして幸袋小学校の課題を収集し、解決に向けて実践する具体的内容を話し合い、まとめる。	◇収集した課題を基に、特徴を見つけたり、考えを整理したりして課題解決に向けて考えることができる。 <span style="float: right;">【思・判・表】</span>
展開	2	3 高学年としてできることや、体育科（保健領域）「けがの防止」、SDGs等の多面的な視点を持ち、今後の学習の計画を立てる。	◇「自分にできることは何か」という視点で今後の自分について考えようとする。 <span style="float: right;">【主体的】</span>
	6	4 学校ボランティアの準備をし、実践する。	◇問題解決に向けた実践をすることができる。 <span style="float: right;">【知・技】</span>
	4	5 再度、情報の収集を行い、新たな課題を捉え、改善点について話し合い、まとめる。 3/4 時目【本時】	◇次回のボランティア活動で行う改善案を整理することができる。 <span style="float: right;">【思・判・表】</span>
	6	6 学校ボランティアの準備をし、実践する。	◇協力して課題の解決に向けた探究に取り組もうとする。 <span style="float: right;">【主体的】</span>
終末	6	5 これまでの活動を振り返り、Google スライドにまとめ、来年度の「ちょいボラ隊参上」を行う第4学年に報告する。	◇相手や目的に応じてまとめ、表現することができる。 <span style="float: right;">【思・判・表】</span>
	1	6 本単元の学習内容を振り返り、中学部で発展する学習や将来への見通しをもつ。	◇進んで実生活の課題に取り組もうとする。 <span style="float: right;">【主体的】</span>

## 5 本单元における小中一貫の視点

### (1) キャリア教育の視点（課題対応能力）

本单元において、ICTを活用した探究的な活動を通して、計画を立て、必要な情報を収集し、課題解決に取り組むことができる。

### (2) 9年間を通じた系統性について

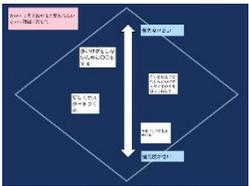
本单元は第4学年で学習した「わたしたちにできること」（福祉についての学習）で培った課題解決能力を発展させていく学習である。また、9年間を見通した際、中学校第1学年「PBL 筑豊地区の企業とのコラボレーション」につながっていく。

## 6 本時

### (1) 主眼

- 中学部の生徒（先輩）と交流したり、課題に対する改善案を思考ツールに整理したりする活動を通して、次回のボランティア活動で行う改善案を考えることができるようにする。

### (2) 展開

段階	学習活動・内容	○指導上の留意点 ◇評価規準(方法)	配時
課題設定	<p>1 本時の活動を確認する。</p> <p>(1) 前時の活動を振り返る。</p> <p>(2) 本時のめあてをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>めあて 次回のボランティア活動に向けて、改善案を考えよう。</p> </div>	<p>○指導上の留意点 ◇評価規準(方法)</p> <p>○改善案を考える意欲をもつことができるようにするために、「何のために」「誰のために」活動するのかを再確認する。</p> <p>○これまでの課題を捉えることができるようにするために、前時までにまとめたロイロノートを確認させる。</p>	5
学び合い	<p>2 改善案をグループで整理する。</p> <p>(1) 課題をもとに学校のために行うボランティア活動の改善案を出し合う。</p> <p>(2) 改善案を思考ツールに整理する。</p>  <p>(3) 中学生が評価する。（評価の視点）</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto;"> <p>・考えるための技法を使って考えをまとめることができているか。</p> <p>・幸袋小学校のためのボランティア内容の改善案を考えているか。（課題に対する改善になっているか）</p> </div> <p>3 グループで考えた改善案を全体で交流する。</p>	<p>○課題に対する適切な改善案をまとめることができるようにするために、適宜中学生からアドバイスをもらったり、「ウェビング」や「ダイヤモンドランキング」等の思考ツールを活用したりする。</p> <p>○事前に中学生に課題を伝えておき、中学生のこれまでの経験から考えた改善案を教えてもらうようにする。</p> <p>○今後の活動をよりよくするために、評価の視点をもとに、中学生が小学生に評価をする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto;"> <p>◇課題に対する改善案を考えることができる。【思・判・表】</p> </div>	20
		<p>○グループごとの考えを可視化するためロイロノート内のキーワードを板書する。</p> <p>○グループの考えをよりよくするために、他のグループの良かった所をメモする。</p>	10
振り返り	<p>4 これまでの活動を振り返り、次回の活動内容につなげる。</p>	<p>○次回の実践をよりよくするために、整理した改善案や振り返りの視点をもとに、振り返りを行うようにする。</p>	10